

「エコ モビリティ ライフ」推進に係る平成30年度の取組結果について

1 「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)に関する普及啓発

(1) 「エコ モビリティ ライフ」推進表彰の実施

募集期間：平成30年5月22日(火)から8月1日(水)まで

応募団体：10件

「県民の集い2018」(11月9日(金)開催)で表彰式を行うとともに、受表彰団体による取組発表を実施。

受表彰団体名	取組・活動の概要
愛知淑徳大学 ビジネス学部 上原ゼミ (名古屋市)	[Myリニモ&Myタウン] 地域団体等と連携したリニモ駅構内での「駅ナカショップ」の開催や、沿線施設での他大学の学生も交えたイベントの実施など、大学生が主体的に企画・活動することにより、リニモの利用促進に貢献
NTTコム マーケティング 株式会社 東海営業所 (名古屋市)	[TRYエコ&セーフティ] 従業員のエコ通勤率100%に加え、営業活動でも社有自転車の活用や、公共交通とレンタカーを組み合わせた移動を行うなど、通勤・営業両面でエコモビを実践

(2) 「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2018」の開催

- 「エコモビ」の意義や取組などを広く県民の方々に知っていただくとともに、実践を呼びかけるため、平成30年11月9日(金)に愛知芸術文化センターで「県民の集い2018」を開催(参加人数：202名)。

<主な内容>

- ・「エコ モビリティ ライフ推進表彰」表彰式
- ・受表彰団体による取組発表
- ・講演
タイトル：「エコモビ・エコ旅」
講演者：川本 えこ 氏 (ラジオパーソナリティ)

(3) 市町村等と連携した実践促進事業

- 県内各地域で市町村などが主催するイベントにおいて、市町村や交通事業者などの協議会構成員と連携・協力して、地域住民等に対して主体的な「エコモビ」の実践を促す取組を実施。

日 程	イベント名
平成30年5月26日（土）	第12回名鉄でんしゃまつり （名古屋鉄道株式会社）
平成30年9月22日（土）	とよた産業フェスタ2018（豊田市）
平成30年9月23日（日・祝）	ええじゃないかとよはしカーフリーデー2018 （豊橋市）
平成31年1月28日（月） 2月26日（火）	「うらら」&「エコモビ」達人教室（東浦町）

（4）「あいちエコモビリティライフの日」（エコモビの日）におけるPR及び実践

- ・ 毎月第1水曜日の「エコモビの日」に合わせ、ショッピングセンター等での啓発活動を実施。
- ・ 庁内放送やメール・イントラネット等により「エコモビの日」を周知。
- ・ 「エコモビの日」に合わせ、「エコ通勤デー」を実施。



（5）PR資材、広報媒体及び電子媒体を活用した普及啓発

- PR資材（チラシ・啓発グッズ）の活用
 - ・ チラシ（A4判）を配布。
 - ・ ポケットティッシュ、シャープペンシル等をPR活動に活用。
- ウェブサイトの更新やメールの配信
 - ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド】にてエコモビの効果や、公共交通機関のお得情報を紹介するとともに、協議会構成員宛てにメールニュースを配信。
- 「エコモビ」紹介動画のウェブ配信
- 広報誌、会報誌などによるPR・働きかけ
 - ・ 消費生活情報「あいち暮らしっく」130号（平成30年7月発行）および132号（平成30年10月発行）に「エコモビ」の記事を掲載してPR。
- 庁内放送などによる「エコモビ」実践の呼びかけ

（6）キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・ 交通・環境イベントや研修会、各種会議などを活用した普及、啓発を実施。

- ・ リニモ沿線地域において、リニモの体験乗車と沿線施設との連携を組み合わせたイベント（夏休みリニモ親子教室など）や沿線ウォーキングなどを開催し、合わせて「エコモビ」をPR。
- ・ 「県政お届け講座」で「エコモビリティライフのすすめ～はじめよう環境にやさしい交通行動」をテーマに職員が会社に出向いて説明。
- ・ 小中学校における、バスの乗り方等を学べるバス乗り方教室の実施。

2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

（1）「エコモビ実践キャンペーン」の実施

- ・ 県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」に自主的かつ積極的に取り組むことで、通勤を含めた業務目的の移動について、全県的に「エコモビ」の実践を推進。

（実施期間）平成30年11月15日（木）から12月14日（金）まで（30日間）

【12月5日（12月の第1水曜日）を県内一斉「エコ通勤デー」とする。】

（参加対象）県内に所在する企業、各種団体、官公庁等の事業所

（取組内容）1. 「エコモビ」情報の周知・実践の働きかけ【必須項目】

2. 県内一斉「エコ通勤デー」（H30.12.5）への参加【選択項目】

3. エコ通勤の推進【選択項目】

4. 環境に配慮した自動車利用の推進【選択項目】

（参加事業所数） 3, 471事業所

（2）エコ通勤・エコ通学の働きかけ

- リニモ沿線地域におけるエコ通勤・エコ通学への転換促進
 - ・ リニモ沿線住民や沿線大学の学生を対象に、リニモの利用を促す啓発資料を配布し、公共交通を利用した通勤・通学への転換を促進。
- リニモ沿線レンタサイクルの実施
 - ・ リニモ利用者（中学生以上）を対象とした「リニモ沿線レンタサイクル」（無料、66台）を杵ヶ池公園駅にて実施。
- 職員、社員のエコ通勤への転換促進
 - ・ エコ通勤実践者に対する報奨制度、エコ通勤に関する補助制度の設定。
 - ・ 自転車通勤に転換する際の自転車購入費を一部補助。

（3）「エコ通勤デー」や「エコ通勤」運動の推進（「エコモビの日」における取組を除く）

- ・ 各市町村や企業・団体において「エコ通勤デー」を実施してエコ通勤を促進。

3 パーク&ライドの普及拡大

(1) リニモ沿線地域におけるパーク&ライド普及推進

- ・ リニモ「愛・地球博記念公園」駅北側の月極P&R駐車場（306台分、月額1,500円）を本県及び沿線市が共同で運営。

(2) 県内各地におけるパーク&ライドの普及推進

- 桃花台線旧車両基地用地におけるパーク&ライド駐車場の運営
 - ・ 本県及び小牧市が共有する土地でパーク&ライド駐車場（41台分）を設置して運営。
- 市町村、交通事業者、小売事業者等によるパーク&ライドの普及推進
 - ・ コミュニティバスの利便性向上のため、バス停のある公共施設の駐輪場をサイクル&バスライド駐輪場として運用。
 - ・ 大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク&ライド駐車場を運営。

4 公共交通利用の動機付け

(1) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進

- ・ 公共交通マップの配布やコミュニティバスの運行等による公共交通の利便性の向上。
- ・ 公共交通の乗換案内（経路・時刻・料金等）、運行情報案内サービスの提供。
- ・ コミュニティバス路線沿線に位置する小学校の児童が校外学習でバスを利用する機会の提供。

(2) 公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ

- ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド（エコモビお得情報）】に公共交通利用者への様々なサービスを掲載。
- ・ 公共交通利用者に対し、観光施設や飲食店等での割引や特典を付与。
- ・ コミュニティバス無料乗車券を配布（対象者・期間限定）。

5 その他

(1) 自転車、徒歩などによる移動の推進

- ・ レンタサイクル事業の実施。
- ・ 自転車道の整備、自転車マップの作成・配布。
- ・ 電動アシスト自転車の貸与、購入費の一部補助。

(2) 環境にやさしい自動車利用の推進

- ・ EV・PHV、FCVの普及推進。
- ・ 社員駐車場などへのEV充電スタンドの設置。
- ・ エコドライブ・アイドリングストップの推進。

- ・ カーシェアリングの利用。

(3) ITS（高度道路交通システム）の推進

- ・ ITSの推進を通じ、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上を推進。
- ・ パソコンや携帯電話で閲覧可能なバスの運行状況案内システム（バスロケーションシステム）の運用。

(4) 協議会への加入促進

- ・ 県の各部局に対し、総合評価競争入札及び企画競争において「エコモビの推進」を評価項目に設定するよう働きかけ。